

溝上 慎一の教育論(動画チャンネル) Number 9(桐蔭学園)

③桐蔭学園幼稚園の2年間の成果 —「チャレンジする力」を通じた幼小の架け橋—

溝上 慎一 Shinichi Mizokami, Ph.D.

学校法人桐蔭学園 理事長
桐蔭横浜大学 学長・教授

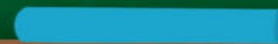
<http://smizok.net/>
E-mail mizokami@toin.ac.jp

学校法人河合塾 教育研究開発本部 研究顧問

【プロフィール】1970年生まれ。大阪府立茨木高校卒業。神戸大学教育学部卒業、1996年京都大学助手、2000年講師、2003年准教授、2014年教授を経て、2019年4月より現在に至る。京都大学博士（教育学）。

*詳しくはスライド最後をご覧ください

※本動画は溝上が個人的に作成・提供するものです



幼児教育、幼小接続の専門家・善野先生に顧問として2年間ご指導をいただきました



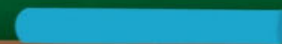
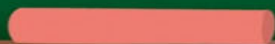
善野八千子

ぜんの やちこ

奈良学園大学 学長補佐
社会・国際連携センター長
人間教育学部 特任教授

大阪教育大学大学院 修士課程
修了、修士（学術）。
大阪府堺市立小学校教頭、大
阪府教育センター主任指導主
事、国立教育政策研究所客員
研究員、奈良文化女子短期大
学学科長教授を経て、現職。

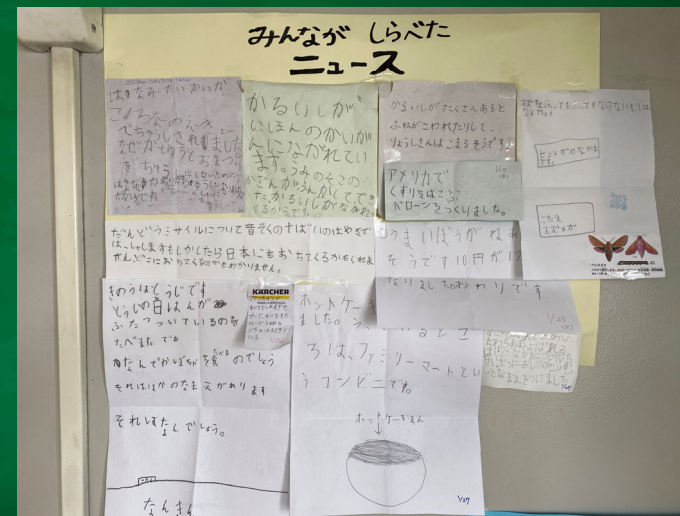
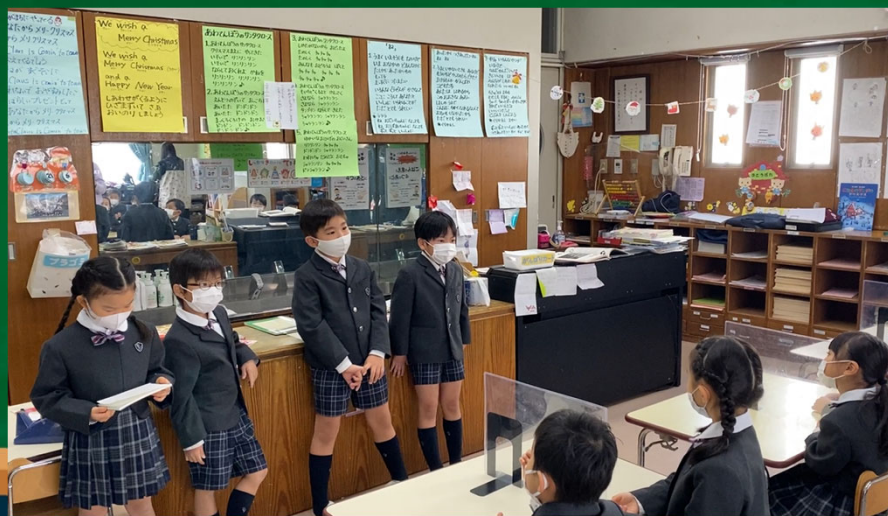
大阪府人権施策審議会会長、
和歌山県家庭支援事業協議会
座長、大和高田市子ども子育
て会議委員長等



溝上の印象に残っている取り組み

- ・「幼児期に育てたい10の姿」をスプレッドシートに書き込む
- ・今日のニュース

クラス	10月11日（月）		
	年少	年中	年長
主な設定保育	☆お部屋遊びの外出び ☆朝のHR ☆OXクイズ ☆のりもの体操 ☆制作「どんぐり」 ☆外出遊び	☆外出遊び ☆散歩（半ほりの場所まで） ☆絵本「こどものとも10月号」	☆HR ・うた「空にうがき描きたいな」 「きもつなごう」 ・体操「楽しい体操」 ☆製作「ことばのおもしろい」 ☆体操「思い切り走り回ろう」 ☆外出遊び
1 健康な心と体	・元気に歌って踊ることで楽しい気持ちになる。 ・自由に遊びを設定することで、心と体を開放的な気持ちにする。	・思い切り体を動かして、心と体を開放させて遊ぶ。	・歌を歌ったり、体操をしたりして、心を開放し、一日の始まりを元気にスタートさせる。
2 自立心	・着替えや荷物整理も自分でやろうとする。	・透明けの荷物の整理も、自ずずんで行う。	・荷物整理や着替えなど、やるべきことを自覚して、順番を考えてやる。
3 協同性			・砂場遊びで役割分担をして、定遊びを楽しむ。
4 道徳性・規範意識の芽生え	・集団の中での約束を守って過ごす。	・クラスでの約束を守って、安全に散歩をする。	
5 社会生活との関わり			
6 思考力の芽生え		・きつまいもを観察して、芋ほりの時にどう掘るか、考えてみる	・遊んでいると見えていた小さい子がいたら、どうするか考える。
7 自然との関わり・生命尊重	・外出びで植物や生きものに興味を持つ。	・畑で植物や生き物、草花を観察する。	
8 数量・図形・文字等への関心・感覚	・折り紙制作を通して、いろいろな形に折れることの実感を覚える。		・音読をして、音の流れやリズムを感じ取る。
9 言葉による伝え合い		・絵本の内容や感想を伝え合い、いろいろな見方を覚える。	
10 豊かな感性と表現	・園庭に落ちているどんぐりを思い出し、自由に制作する。		



それではご覧ください

2020・2021年度



桐蔭学園幼稚園の保育活動

善野先生による研修

2020.12.7桐蔭学園幼稚園研修（第1回）

子どもの育ちと学びをつなぐ

～チャレンジする子を育てる
チャレンジする教職員をめざして～



桐蔭学園理事
奈良学園大学
社会・国際連携センター長
人間教育学部 教授 善野 八千子
Yachiko Zenno

2020年度

2020.12.7 第1回
2021.1.25 第2回
2021.2.22 第3回
2021.3.25 第4回

2021年度

2021.4.27 第5回
2021.6.22 第6回
2021.7.20 第7回
2021.9.27 第8回
2021.11.15 第9回
2021.12.20 第10回
2022.2.21 第11回

※3月年度末に第12回を予定

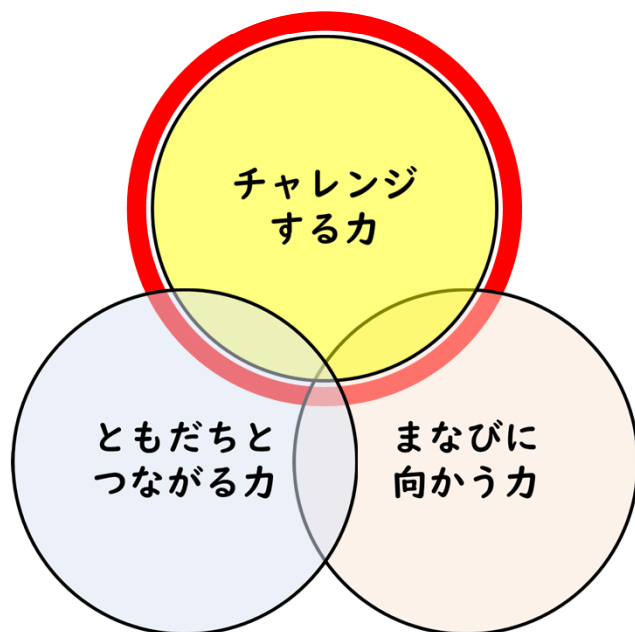
- コロナ禍で対面の研修が叶わないなか、Zoomによるオンライン研修
- 22年度は、毎回各クラス3分程度の保育動画を見て頂き指導を受ける

今後の方向性 (第1・2回研修より)

- ◆先に覚えている、知っていることが大切な時代は終わった
幼稚園は小学校の先取りではない
保育の世界では、子どもたちのやってみたい、こう思っている、
ということを対話的な環境の中で実現していくことが大切
- ◆知っていることを増やすよりも
わかりたいと思うこと、体験をとおしてできることを増やす
- ◆具体的な子どもの姿
“チャレンジする子”
 - ・やりたいことを言葉にしたり、行動にうつそうとしたりする
 - ・できなかったことを繰り返し試みようとする

幼稚園から小学校への接続

桐蔭学園幼稚園



桐蔭学園小学校



桐蔭学園幼稚園として

「チャレンジする力」の育成と

「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」の育ちを実現する保育の充実を図る

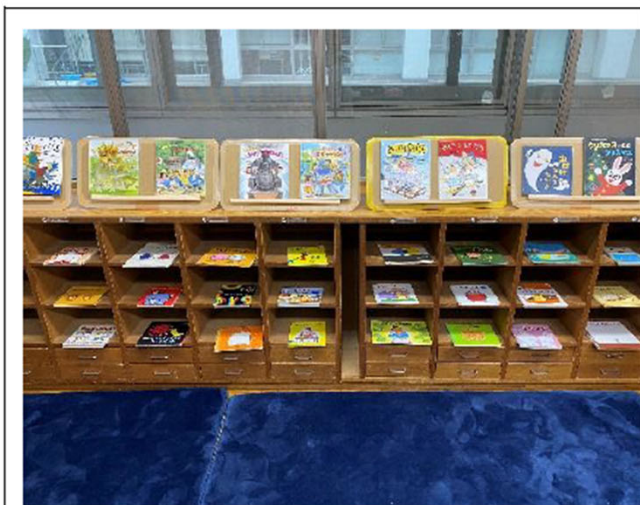
第3回研修スライドより

チャレンジできる環境設定

① やりたいことを言葉にしたり、
行動にうつそうとしたりする

- ・ 見たくなる掲示物
- ・ 活用できる資料
- ・ 手に取りたくなる読み物・書籍
- ・ 質の高い作品
- ・ 本物の展示
- ・ 季節と共に変化する環境

～絵本コーナー～



～絵本・図鑑と生き物などを並べてセットする～



～園舎に季節に応じた掲示物～



「幼児期に育てたい10の姿」を育む

「記述式の日誌」から「観点別の表記載」へ

		10月11日（月）		
	クラス	年少	年中	年長
	主な設定保育	☆お部屋遊びor外遊び ☆朝のHR ☆〇×クイズ ☆のりもの体操 ☆制作「どんぐり」 ☆外遊び	☆外遊び ☆散歩（芋ほりの場所まで） ☆絵本「こどものとも10月号」	☆HR ・うた「空にらくがき描きたいな」 「手をつなごう」 ・体操「乗り物体操」 ☆音読「ことばっておもしろい」 ☆体操「思い切り走り回ろう」 ☆外遊び
1	健康な心と体	・元気に歌って踊ることで楽しい気持ちになる。 ・自由に遊びを設定することで、心と体を開放的な気持ちにする。	・思い切り体を動かして、心と体を開放させて遊ぶ。	・歌を歌ったり、体操をしたりして、心を開放し、一日の始まりを元気にスタートさせる。
2	自立心	・着替えや荷物整理を自分でやろうとする。	・通明けの荷物の整理を、自らすすんで行う。	・荷物整理や着替えなど、やるべきことを自覚して、順番を考えてやる。
3	協同性			・砂場遊びで役割分担をして、泥遊びを楽しむ。
4	道徳性・規範意識の芽生え	・集団の中での約束を守って過ごす。	・クラスで約束を守って、安全に散歩をする。	
5	社会生活との関わり			
6	思考力の芽生え		・さつまいもを観察して、芋ほりの時にどう掘るか、考えてみる	・泣いていたり困っていたりする小さい子がいたら、どうするか考える。
7	自然との関わり・生命尊重	・外遊びで植物や生き物に興味を持つ。	・畑で植物や生き物、草花を観察する。	
8	数量・図形、文字等への関心・感覚	・折り紙制作を通して、いろいろな形に折れることの楽しさを知る。		・音読をして、音の流れやリズム感を感じ取る。
9	言葉による伝え合い		・絵本の内容や感想を伝えあい、いろいろな見方を知る。	
10	豊かな感性と表現	・園庭に落ちているどんぐりを思い出し、自由に制作する。		

「幼児期に育てたい10の姿」を育む

- ①クラス別の活動記録や内容が分かりやすい
- ②共通していることが分かりやすい
- ③10の姿を意識して幼児期の終わりまでの育ちを考えやすい
- ④記載の不十分な項目が分かりやすい

「わくわくデー」の設定(11月~)

- ・幼児期ならではの時間枠
- ・いくつかの遊び場を設定
- ・自分で遊びたい遊びを見つけ、選択し、思う存分に遊び込む1日



～わくわくデーの記録～

(1月)わくわくデー記録表

10の姿 →						
活動コーナー		①工作(A先生)	②絵本(B先生)	③	④	⑤
年少	名前	特徴的な観察メモ				
	1					
	2					
	3					
	・					
年中	1					
	2					
	3					
	・					
	・					
年長	1					
	2					
	3					
	・					
	・					

10の姿との関連、複数で重複もあり

コーナー数の限定や吟味

コーナーの担当者を決める。ローテーションしていくのもよい。

その場では以下の例の記号のみ
 メモでもよい、降園後に記録
 ○高いレベルの価値ある活動
 ♥人間関係・情意
 ◇際立つ変化
 △気になる活動
 (声かけや必要な援助)

園児の名前を全員記入して、指導者が全員もっておく。

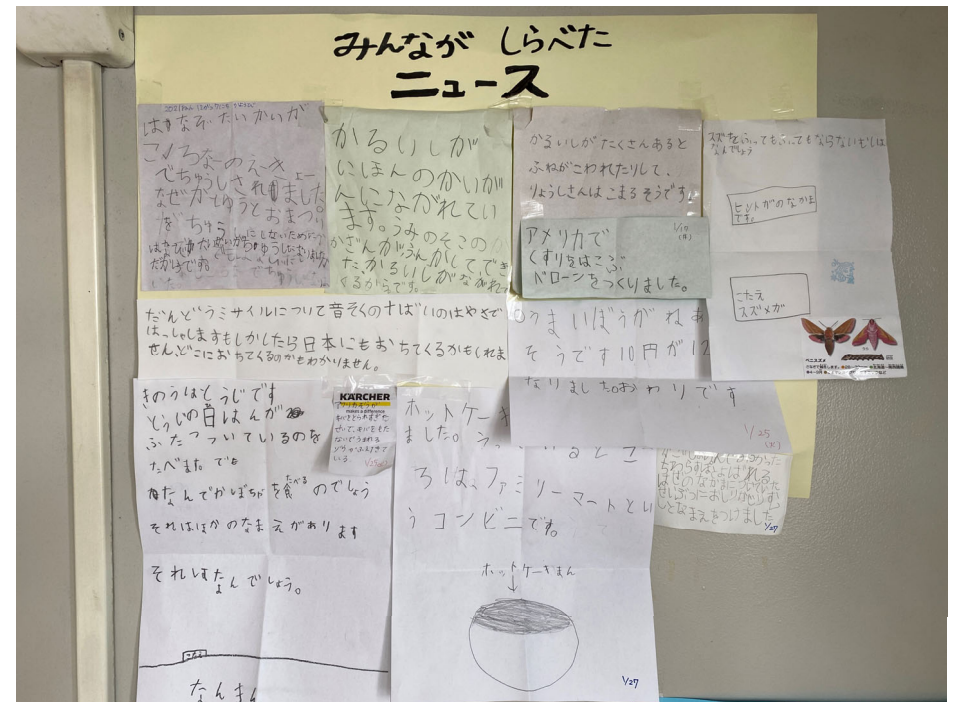
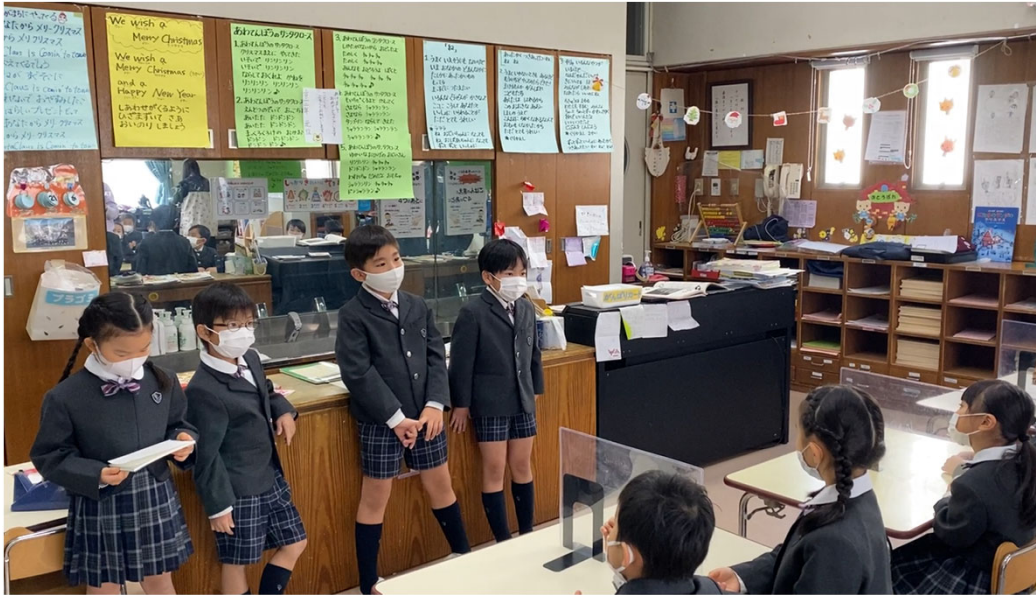
桐蔭学園幼稚園の目指す教育

- 自分でえらぶこと、たっぷりの時間、とことん取り組むこと、直接的な体験、子ども自身にとって意味のある体験、がある保育環境を整えている
- 教員は「幼児期に育てたい10の姿」の観点別表記載など、活動のねらいを常に意識するようになり、子どものみとり方が変わってきた

幼児期ならではの経験を大切に子ども主体の保育へ

保育現場にて

今日のニュース



第3回研修スライドより

【対話的学びの力】

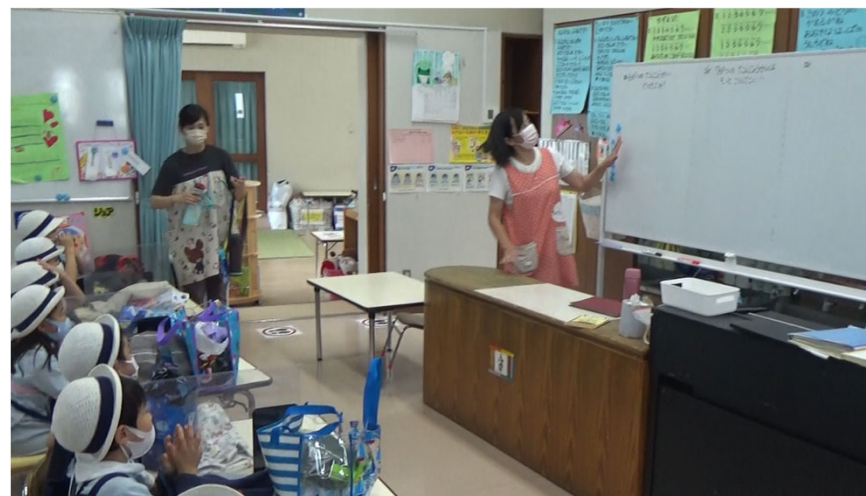
平均正答率が高い傾向が見られる学校の取組

◆全国学力・学習状況調査結果【小学校】【中学校】

- 発言や活動の時間**を確保して授業を進めた
- 学級やグループで**話し合う活動**を授業などで行った
- 各教科等の指導の**ねらいを明確**にした上で、言語活動を適切に位置付けた
- 言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、外国語活動(小学校のみ) 総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、**学校全体**として取り組んでいる
- 授業の最後に学習したことを**振り返る活動**を計画的に取り入れた

<http://www.nier.go.jp/chousakekkahoukoku/hilights.pdf>

7



1日の予定を子どもたちが考える

第5回研修スライドより

数量・図形文字への関心

自然との関わり

言葉による伝え合い

室内の活動のビデオ記録から（年少組）

1

(1) 1日の始まり「朝の会」で安心の環境づくり

- ・ 今日●月●日（指）を指で示す
→数字カード・曜日カード・天気カード 自然との関わり
（日めくり・選択式）数量・図形文字への関心

(2) 見通しを持って活動する。

- 年少～年長組へと実態に即して、
当番活動でする、みんなに知らせる 言葉による伝え合い
- ・ 今日的主要活動（カリキュラム週案・月案）
→絵カード（園庭・室内①②③④⑤活動分類カード）

善野八千子作成

12



保育現場にて

子どもたちの様子



以上です

教育行政における幼小接続期の政策形成についての考察 (善野八千子2019)

1989年の生活科の創設以降から今日に至る 幼小接続カリキュラムをめぐる教育政策の概要

1. 「生きる力」における「学習の基盤」をめざす第1段階
2. 「小1プロブレム」の予防・解消をめざす第2段階
3. 安全で安心な学校生活をスタートさせる第3段階
4. 学びに向かう子どもを育てる第4段階

第5段階【質的転換・質保証と幼保小接続】

幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿

合意形成理論（知る・分かる）

だから、どうする？

開かれた幼児教育
明確な手がかり

意識変容から行動変容へ

育てていくプロセスの可視化

園日誌「育てたい10の姿」

育てる保育・教育活動（使う）

保育者自身の振り返り
「ねらいは明確だったか」

育った姿の共有→幼保小接続カリキュラム

つなぐ保育・教育活動（できる）

環境移行の「のりしろ」・「バトン」

幼小接続「のりしろ理論」 (善野2009)

(1) 「のりしろ」のない紙と紙の突き合わせ



(2) 多くの散在するカードを巻物に

0～2歳 → 3歳 → 4歳 → 5歳 → 小学校 →

チャレンジする力・試行錯誤

問い
気づき

(3) 「3づけ」で「のりづけ」

① 価値づけ 「〇〇した事が、うれしいね」

② 意味づけ 「Bさんも教えてくれたね」

③ 方向づけ 「次は、どうしてみたい？」

子どもの育ちと学びをつなぐ
過去・現在・未来が見える連続性

・パッチワークの活動



・カードの組み合わせ



・育ちの巻物の可視化

☆次なる紙幅に小学校以降の生活が続くことを見据えて
(教科横断的・社会の変化に対応した協同的課題解決学習)

10の姿の視点：⑤社会生活との関わり

【目的】

遊びや生活に必要な情報を取り入れ、情報を伝え合ったり、活用したり、情報に基づき判断しようとする。

- ・ 園内外にある世界にふれる機会
- ・ 自然・科学・文化・経済・人権

聴いてもらって良かった体験

話して良かった体験

EX. ☆「今日のニュース」発信者になる☆

- ・ 身近な社会とのふれ合いを通して、公共の場でのマナーを覚えるとともに、変化する社会とのつながりを感じ、大切に思う気持ちを育んでいく。

主体的・対話的 深い学びへ

【人的環境】話し方のルールモデル

1. 理由のある内容

- ①体験に基づいて
- ②自分の思いや願いから

2. 根拠のある内容

- ①情報に基づいて
 - ・ニュースで聞いたよ
 - ・家の人が出てたよ
- ②データに基づいて
(絵・写真・グラフ・表・文字・文章)
 - ・本のこのページに書いてあるよ

諸感覚を活かす

【物的環境】

絵本、図鑑

飼育・栽培

自然物、製作物

映像 等